

# 人生 100 年時代（健康寿命・平均寿命の延伸）で定年後が長い

⇒現役から定年後を意識できる仕組みづくり（本人・職場環境の意識改革）⇒現役世代に対する人生二毛作社会の展開

## 定年後

### 【現状】

- ・居場所と役割がない
- ・居場所の情報が不足
- ・時間の過ごし方が分からない
- ・仕事以外の居場所を知らない

### 【必要なもの】

- ・自分の強みを理解（現役時代の経験や技術が社会貢献に役立つ）
- ・能力の再開発（自分の強み・特技・関心事に気づく学びの場の提供）
- ・社会参加等の地域とつながる居場所の提供
- ・活躍できる場所の提供（きっかけづくり）
- ・マッチング（(例) 農地 ⇄ 定年後農業希望者）
- ・地域のシニアキーパーソンの存在（つなぎ役）

### 【課題】

- ・マッチングできていない
- ・情報が共有できていない

定年後を充実させるため、現役から定年後の人生を具体化できる機会が必要



## 現役

### 【本人に対するきっかけづくり】

- ・定年後をどのように生きるか具体化
- ・会社以外の社会とつながる場所をつくる
- ・仕事以外の関係を構築
- ・世代で区切らない生涯学習（地域と関わり、学べる場の提供）
- ・自分の活躍できる場所を知る
- ・自分のスキルを NPO 等の社会貢献活動に活かす（プロボノ）
- ・働き方の転換（仕事以外に自分の人生を豊かにできる時間を創出する働き方）
- ・生活時間から働き方改革を考える
- ・職場からの働き方改革（職場からセカンドキャリアに関する情報提供 → 従業員に定年後の選択肢を与える）

### 【必要なもの】

- ・現役から次のステップへスムーズに進める流れ
- ・キーパーソンとのつながり

### 【前提】

- ・本人の意思で選択した上で、活躍の場（居場所）がある
- 一人ひとりが自分の生きがいは何かを探求

### 【その他】

- ・地域振興は、世代を超えた多くの人の関わりが必要